

Kaneka

カガクでネガイをカナエル会社

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026年2月10日(火)
株式会社**力ネ力**

INDEX

2026年3月期第3四半期 決算サマリー

01

業績概要

02

事業概況

04

貸借対照表

09

連結業績予想などの将来予測情報

10

トピックス

13

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2026年3月期第3四半期 決算サマリー

2026年3月期3Q累計 実績

売上高
5,983億円
(対前年▲0.8%)

営業利益
222億円
(対前年▲23.8%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益
184億円
(対前年+4.0%)

- 売上高 : 前年同期並み
- 営業利益 : (増益要因) Medical の拡販が継続 ⇒ 全社の業績を牽引
(減益要因) Vinyls アジア市況の低迷、MOD・MS 米国の住宅・建築需要の低調が長期化
E&I 需要回復遅れ
- 純利益 : (増益要因) 政策保有株式縮減が進展 (3Q累計 売却益: 102億円)

トピックス : 重点化している新規開発製品の社会実装が順調に進展

- Green Planet : 「2025年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞」を受賞
ミズノと共同開発のGreen Planetを使用した生分解性人工芝がバンテリンドーム ナゴヤに初採用
- ペロブスカイト太陽電池 : NEDOグリーンイノベーション基金事業「次世代型タンデム太陽電池量産技術実証事業」に採択

業績概要

(単位:億円)

	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	増減(対前年同期比)	
	金額	%		
売上高	6,030	5,983	△ 48	△0.8%
営業利益	291	222	△ 69	△23.8%
経常利益	261	193	△ 68	△26.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	177	184	7	4.0%
営業利益率	4.8%	3.7%		
I株当たり四半期純利益	280.67円	296.72円		

為替・原料価格

期中平均レート(米ドル)	152.6円	148.7円
期中平均レート(ユーロ)	164.9円	171.8円
国産ナフサ	76,633円	65,167円

(前年同期比)

- 売上高 : 減収
- 営業利益、経常利益 : 減益
- 純利益 : 増益

セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)

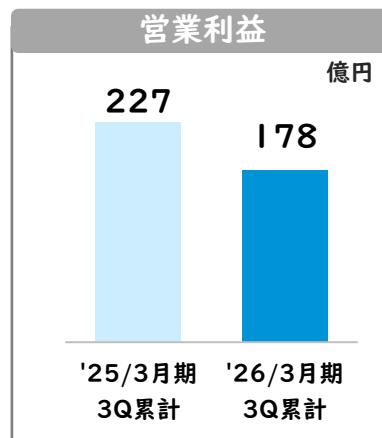
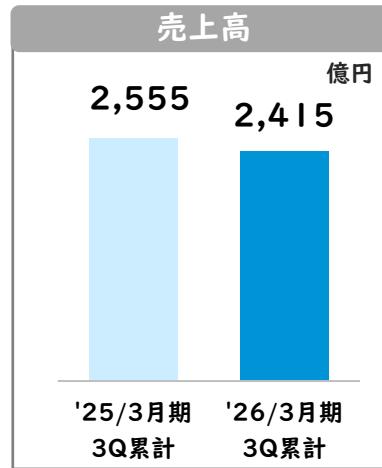
	売 上 高				営 業 利 益			
	2025年3月期 3Q累計		2026年3月期 3Q累計		増減		増減	
			金額	%			金額	%
Material SU	2,555	2,415	△140	△5.5%	227	178	△50	△21.8%
Quality of Life SU	1,443	1,454	11	0.8%	157	143	△14	△9.2%
Health Care SU	554	573	19	3.4%	87	96	8	9.7%
Nutrition SU	1,471	1,533	62	4.2%	101	95	△7	△6.5%
その他	7	8	0	4.5%	3	3	0	4.0%
調整額	-	-	-	-	△ 285	△ 292	△7	-
計	6,030	5,983	△48	△0.8%	291	222	△69	△23.8%

※SU:Solutions Unit

事業概況

(Material Solutions Unit)

Vinylsはアジア市況低迷、MOD・MSは米国住宅・建築市場の需要低調が長引く ⇒ 減収減益



Vinyls and Chlor-Alkali

- 3Q実績 : 塩ビのアジア市況低迷継続、国内需要も低調
- 4Q見通 : アジア市況の低迷が長期化、回復時期がずれ込む見通し

Performance Polymers (MOD)

- 3Q実績 : 米国の住宅・建築市場は需要調整継続
高付加価値製品(非塩ビ用途・MXなど)の拡販が進展
- 4Q見通 : 米国の住宅・建築市場は緩やかな回復を見込む

Performance Polymers (MS)

- 3Q実績 : 他素材からの置換が伸長 ⇒ グローバルで需要回復
- 4Q見通 : アジアを含めたグローバル拠点での着実な拡販進む

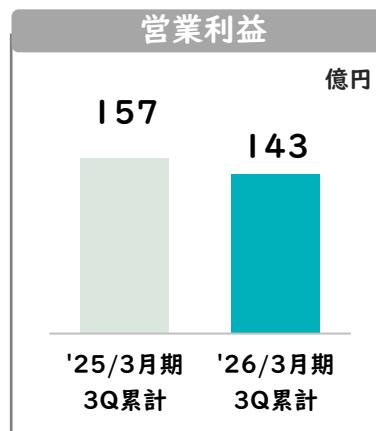
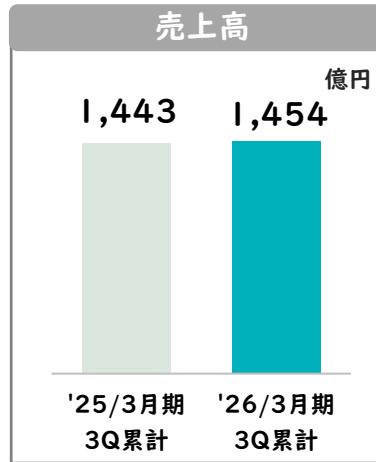
Green Planet

- 3Q実績 : 大型案件での顧客評価がさらに進展
「日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞」を受賞
- 4Q見通 : 新規採用・販売拡大を見込む

事業概況

(Quality of Life Solutions Unit)

Foam・PV・Fibersは堅調な業績、E&Iは回復遅れ ⇒ 増収減益



Foam & Residential Techs

- 3Q実績 : 價格改定・コストダウンなどスプレッド改善が進展
- 4Q見通 : 非需要期も引き続き収益性の向上を見込む

E & I Technology

- 3Q実績 : ポリイミドフィルム・光学用アクリル樹脂の販売堅調
原料高騰・為替影響により減益
- 4Q見通 : 高周波ポリイミド・アクリル樹脂改良品などの拡販により収益拡大を見込む

PV & Energy management

- 3Q実績 : 国内住宅向け高効率太陽電池の販売堅調
- 4Q見通 : ペロブスカイト太陽電池(タンデム型)の上市に向け、官民共同の技術開発を推進

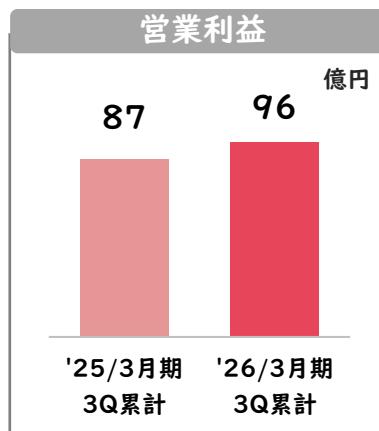
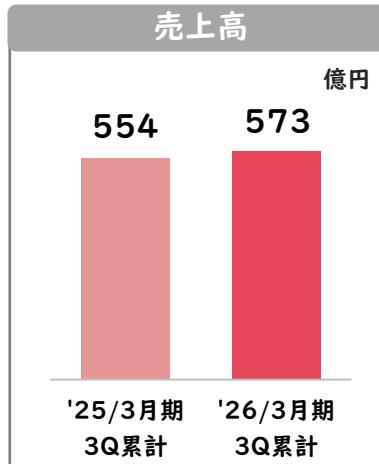
Performance Fibers

- 3Q実績 : 頭髪製品の販売は好調。難燃ファブリックの一部原料が高騰しスプレッドに影響
- 4Q見通 : 頭髪製品需要は引き続き伸長。難燃ファブリックはアンチモンフリー原料への切替促進

事業概況

(Health Care Solutions Unit)

Medicalの躍進が継続、Pharmaは4Qに販売が集中 ⇒ 増収増益



Medical

- 3Q実績 : 血液浄化器およびカテーテルの拡販が進展 ⇒ 当社最大の収益事業
北海道新プラント(苫東工場)も計画通り戦力化
- 4Q見通 : 各製品の拡販が継続。カテーテル新プラントの建設は順調に進展

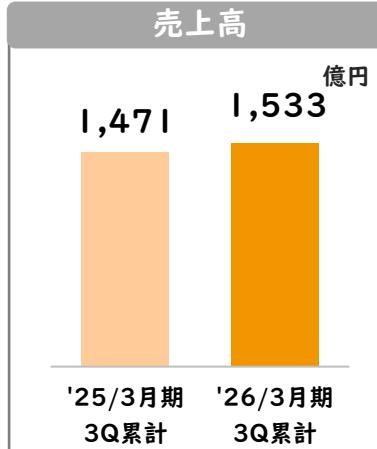
Pharma

- 3Q実績 : バイオ医薬品の販売案件は4Qにずれ込み
- 4Q見通 : 低分子・バイオ医薬品の新規案件獲得が進む

事業概況

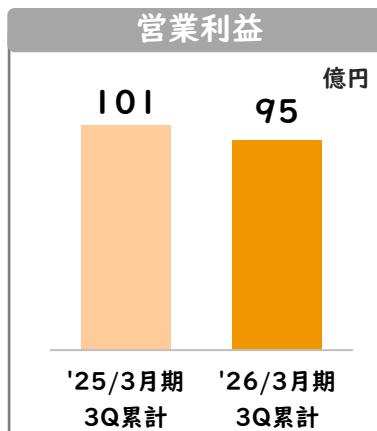
(Nutrition Solutions Unit)

Supplementは堅調、Foodsの収益性向上が進展 ⇒ 増収減益



Supplemental Nutrition

- 3Q実績：還元型Q10はグローバル市場で拡販が進展
- 4Q見通：順調に拡販が継続し、収益は着実に伸長する見通し



Foods & Agris

- 3Q実績：需要期に加え、価格改定・高付加価値品シフトが進み、スプレッド改善
- 4Q見通：「B2C」事業での新製品拡販含め、収益性向上を図る

セグメント別 売上高・営業利益 3Q実績(対2Q比)

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2026年3月期		増減(対2Q比)		2026年3月期		増減(対2Q比)	
	2Q	3Q	金額	%	2Q	3Q	金額	%
Material SU	801	790	△11	△1.4%	63	52	△12	△18.4%
Quality of Life SU	486	484	△2	△0.4%	42	48	6	13.8%
Health Care SU	191	200	9	4.7%	29	36	7	23.9%
Nutrition SU	508	532	24	4.7%	33	35	3	7.8%
その他	2	3	1	32.6%	1	1	1	114.4%
調整額	-	-	-	-	△100	△100	△0	-
計	1,987	2,008	21	1.1%	68	72	4	6.3%

※SU:Solutions Unit

営業利益差異要因 Materialを除き、各SUで収益が向上

- Material : Vinyls アジア市況下振れが長期化。MOD・MS 欧米での需要回復遅れ
- QOL : Foam スプレッドが向上。E&I スマホ調整局面、大型液晶TVでの生産調整
- Health Care : Medical グローバルでの販売拡大がさらに進展
- Nutrition : Foods 高付加価値シフト進展および需要期での拡販実現

貸借対照表

(単位:億円)

		2025年3月末	2025年12月末	増減
資産の部	流動資産	4,445	4,666	221
	固定資産 等	4,756	4,869	113
	資産合計	9,201	9,535	333
負債の部	有利子負債	2,033	2,095	61
	その他	2,244	2,392	148
	負債合計	4,277	4,487	210
純資産の部	自己資本	4,713	4,823	110
	非支配株主持分 他	211	225	13
	純資産合計	4,924	5,048	124
負債、純資産 合計		9,201	9,535	333
自己資本比率		51.2%	50.6%	
D/Eレシオ		0.43	0.43	
1株当たり純資産		7,488.51円	7,921.40円	

- 総資産：棚卸資産・円安による海外グループ会社の資産額増などにより増加
- 負債：仕入債務・借入金増などにより増加
- 純資産：利益剰余金・円安による為替換算調整勘定増などにより増加
- 自己資本比率：50.6%

連結業績予想などの将来予測情報

(単位:億円)

	2025年3月期	2026年3月期		増 減	
	実績	前回予想 (11/12)	修正予想	対前年	対前回予想
売上高	8,072	8,000	8,000	△ 72	-
営業利益	401	370	340	△ 61	△ 30
経常利益	329	314	283	△ 46	△ 31
親会社株主に帰属する当期純利益	253	330	315	62	△ 15
営業利益率	5.0%	4.6%	4.3%		
1株当たり当期純利益	400.91円	534.03円	511.80円		
1株当たり配当金	130.00円	160.00円	160.00円		
ROE(自己資本当期純利益率)	5.5%	7.0%	6.5%		
為替・原料価格					
期中平均レート(米ドル)	152.6円	150.0円	150.0円		
期中平均レート(ユーロ)	163.9円	170.0円	175.0円		
国産ナフサ	75,475円	65,000円	65,000円		

- ✓ 重点領域であるライフサイエンス領域を強化し、ポートフォリオ変革を急ぐ
 - ✓ Health Careを中心に全社の収益回復のモメンタムは戻る
 - ✓ Vinylsの海外市況低迷の長期化、MOD・MSは欧米の住宅・建築市場の回復が緩やかと想定
- 2025年11月12日公表の連結業績予想を修正

連結業績予想などの将来予測情報(セグメント別)

(単位:億円)

	売上高					営業利益				
	2025年 3月期		2026年 3月期		増減	2025年 3月期		2026年 3月期		増減
	実績	前回予想 (11/12)	修正予想	対前年	対前回予想	実績	前回予想 (11/12)	修正予想	対前年	対前回予想
Material SU	3,429	3,230	3,180	△ 249	△ 50	310	268	245	△ 65	△ 23
Quality of Life SU	1,910	1,950	1,940	30	△ 10	200	183	183	△ 17	-
Health Care SU	773	840	870	97	30	134	170	165	31	△ 5
Nutrition SU	1,950	1,970	2,000	50	30	131	147	137	6	△ 10
その他	11	10	10	△ 1	-	5	4	5	△ 0	1
調整額	-	-	-	-	-	△ 379	△ 402	△ 395	△ 16	7
計	8,072	8,000	8,000	△ 72	-	401	370	340	△ 61	△ 30

※SU:Solutions Unit

連結業績予想などの将来予測情報(セグメント別)

➤ 業績予想に関する説明(4Q見通)

- ✓ Material : Vinyls アジア市況低迷の長期化を想定
MOD 欧米の住宅・建築市場の緩やかな回復見通し
MS アジアを含めグローバル拠点での拡販が進展
- ✓ QOL : E&I ポリイミドフィルム・光学用アクリル樹脂の需要は底を打ち回復。高付加価値グレードの拡販
Fiber 頭髪製品の高水準な販売が継続
- ✓ Health Care : Medical 新製品拡販・販売地域拡大(アジア・米国)
Pharma 低分子・バイオ医薬品ともにCDMO市場での遅れていた拡販が実現
- ✓ Nutrition : Foods 内需は想定以上の低迷を見込むも、高付加価値品へのシフト、「B2C」製品の販売拡大が進展
Supplement 堅調な販売を維持する見通し

トピックス -Green Planetの認知拡大-

カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet
「2025年日経優秀製品・サービス賞」*の「最優秀賞」を受賞

- ✓ 受賞のポイント: 土壌中だけでなく、海水中でもCO₂と水に生分解が可能
汎用プラスチックと同様の機能を有する



※日経優秀製品・サービス賞とは・・・日本経済新聞社が毎年1回、特に優れた新製品・新サービスを表彰するもの
今回で44回目を迎える伝統ある賞

トピックス -Green Planetの採用拡大-

ミズノと共同開発のGreen Planetを使用した生分解性人工芝が
バンテリンドーム ナゴヤに初採用*

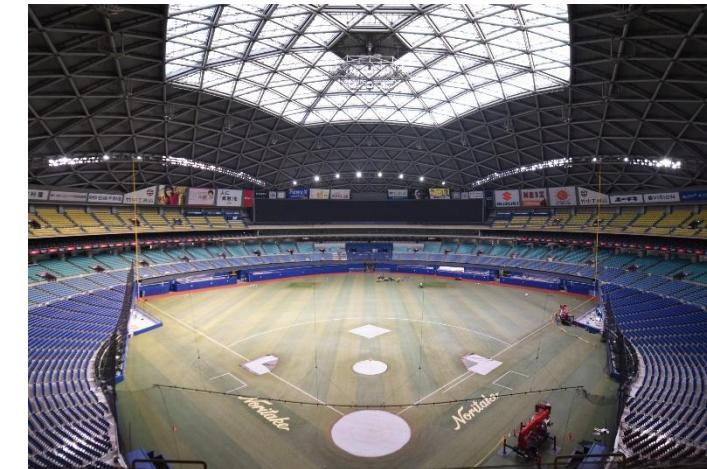
- ✓ ミズノと屋内型スポーツ用の生分解性人工芝を共同開発
⇒人工芝破片の海洋流出によるマイクロプラスチック問題に対応

【製品特長】

- ✓ 人工芝葉に90%以上バイオマス由来の樹脂を使用 ⇒ 石油由来の人工芝に比べCO2排出量を低減
- ✓ 競技を行うまでの安全性・耐久性・クッション特性などを確保



写真提供:株式会社ナゴヤドーム



写真提供:株式会社ナゴヤドーム

* Green Planetを使用した人工芝がスポーツ施設に採用されるのは世界初(当社調べ)

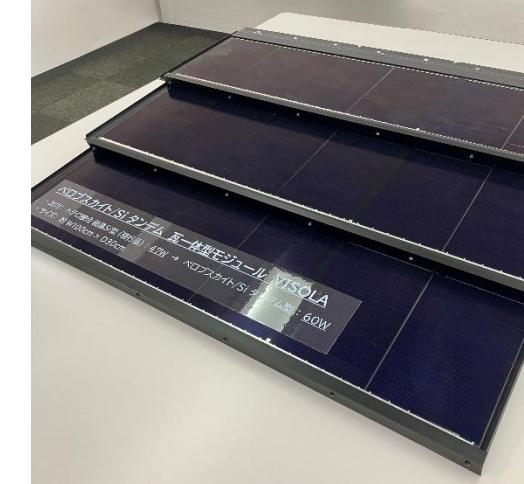
トピックス -ペロブスカイト太陽電池の開発-

NEDOグリーンイノベーション基金事業 「次世代型タンデム太陽電池量産技術実証事業」に採択

- ✓ タンデム型ペロブスカイト太陽電池とは、ヘテロ接合型結晶シリコン太陽電池にペロブスカイト太陽電池を重ね、従来よりも高い変換効率と高耐久性を実現する太陽電池
- ✓ 屋根・壁などの住宅 (ZEH)・ビル (ZEB) 向けの実証試験を実施。(28年度に製品販売を開始する計画)
- ✓ 将来的には40%以上の高効率化に挑戦し、従来品よりも低い発電コストの実現を目指す



タンデム型ペロブスカイト太陽電池
軽量モジュール



タンデム型ペロブスカイト太陽電池
住宅用瓦一体型モジュール

< お問い合わせ >

(株)カネカ IR (Investors Relations) 部



03-5574-8090